



令和 7 年（2025 年）4 月 3 日 公表
 令和 6 年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

ケンサキイカ（日本海・東シナ海系群）

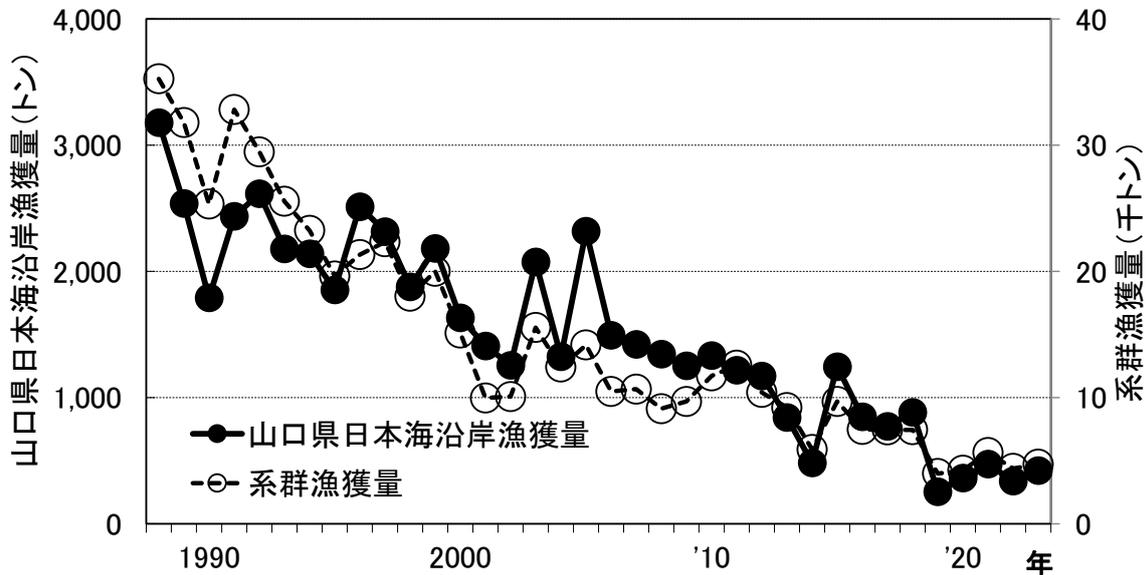


図 山口県日本海沿岸（山口農林水産統計年報、2007 年以降は推定値）及び日本海・東シナ海系群（(国研) 水産研究・教育機構資源評価報告書）のケンサキイカ漁獲量の推移

【漁業】ケンサキイカは主に春から秋にいか釣り漁獲される。春から初夏には大型の成熟群、秋には小型の未熟群が主に漁獲される。

【漁獲量】山口県日本海沿岸の漁獲量は、近年では 2005 年をピークとして減少し、2014 年には 483 トンに低下した。2015 年には漁獲量は 1,246 トンと一旦回復したものの、その後再び減少し、2023 年には 423 トンであった。日本海西部～東シナ海における漁獲量は、1988 年には 3.53 万トンだったが、これ以降 2000 年代初めにかけて減少傾向を示した。2001 年以降は 1 万トン前後で推移していたが、2019 年と 2020 年に大きく減少した。2023 年の漁獲量は 4,716 トンと過去 3 番目に低い値であった。

【資源状態】1988 年以降の系群の漁獲量の最大値と最小値の間を 3 等分して資源水準を判断し、2023 年の漁獲量から **水準は低位と判断された**。また、CPUE を基に算出した資源量指標値の直近 5 年の推移より、資源動向は増加と判断された。

| 資源の水準・動向 | | 2023 年漁獲量 (千トン) | 2025 年 ABCtarget (千トン) | 2025 年 ABClimit (千トン) |
|----------|----|--------------------|---------------------------|--------------------------|
| 水準 | 動向 | | | |
| 低位 | 増加 | 4.7 | 3.8 | 4.8 |